

鎌倉三田會 會報

第15号

2014年3月15日発行

発行人 石渡 徳一

目次

「26 年度総会・懇親会」 「鎌倉三田会史その2」	1
寄稿 「由比ヶ浜商店街のいま昔」 「高德院でひな祭り」	2 3
《親睦会》 早慶戦で応援する会 読書会	4
ゴルフ愛好会 釣り部 歩こう会	5
フオクラブ 美術部	6
ロボット・モノづくり研究会 囲碁クラブ 丘の上句会	7
史跡めぐり部 「事務局からのお知らせ」	8



平成26年度

鎌倉三田会 総会・懇親会

6月29日(日)開催

本年度の鎌倉三田会総会を下記の通り開催いたします。

例年通り、総会に引き続き懇親会を開催しますので、ご出席お願いします。

本年も、実行委員一同にて、恒例の三色くじ、軽音楽などのプログラムを用意いたしますので、ご家族、ご友人お誘い合わせの上、多数の会員の皆様のご来場をお待ち申し上げます。

また、本年数え年で70歳、80歳、90歳を迎えられる会員には、ご長寿のお祝いとして、記念品を贈呈させていただき、記念撮影も実施いたします。該当される会員の皆様には別途、ご案内を差し上げますので、ぜひともご出席お願いいたします。

なお、プログラムの詳細につきましては、改めてご案内いたしますので、ご承知下さい。

日時 平成26年6月29日(日) 午前11時より

場所 鎌倉プリンスホテル バンケットホール

「鎌倉三田会史(その2)」

慶應義塾の機関誌『三田評論』には「三田会だより」欄がある。そこには地域・職域・クラブ・ゼミなどの各三田会の活動が記載されている。そこで、慶大三田図書館に赴き、昭和5年以前のバックナンバーをひもとくとき、鎌倉三田会関連記事の掲載の有無を調べた。大正や昭和初期の『三田評論』は紙質も粗いうえに欠番もあるので苦労したが、漸く大正15年5月号に次の記事を発見した。「鎌倉三田会 四月十一日午後六時より海濱ホテルに於いて開催、盛會なりき」として26名の出席者があり、なかには西洋美術史教授で『美術の都』(岩波文庫)の著者澤木四万吉氏や、塾法律科初期の商法教授青木徹二氏の名がある。

そういえば、戦前の名塾長小泉信三氏の『海軍主計大尉小泉信吉』に「鎌倉駅の正面の方向に三四町離れた、小町三三一番地に借家して新世帯を持った」のは大正5年暮とあり、これらの鎌倉居住の塾の先生方が鎌倉三田会設立に関与されていたのではないだろうか。もっともこれは推定に過ぎず、さらなる情報を調査しているところである。以下次号。

(監事 岡林馨)